

<b>中長期目標 (学校ビジョン)</b>	社会の中でたくましく生きるための学力や豊かな人間性を育み、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を図る。
---------------------------	---

<b>今年度の重点目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>【学力の充実】 分かりやすい授業を工夫し学力の向上を図る。</li> <li>【豊かな人間性の育成】 ルール・マナーを身につけさせる。</li> <li>【進路指導の充実】 コミュニケーション能力の育成。</li> <li>【光り輝く学校づくり】 地域との連携を図る。</li> </ol>
-----------------	--

年度当初					評価結果(10)月				
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策		
1.【学力の充実】分かりやすい授業を工夫し学力の向上を図る。	○授業の充実	○教員は「分かりやすい授業」を目指して授業改善に取り組んでおり、生徒も大半が真面目に授業に取り組んでいる。	○生徒の授業に取り組む意欲をさらに高める	○生徒による授業評価、授業公開などにより授業改善をさらに進める。	教材の工夫、適切な目標設定等により「分かりやすい授業」が行われている。生徒は概ね授業に意欲的に取り組んでいる。 個別指導、声かけ、成績不振者指導等により、個々の生徒の学習を支援する環境が整いつつある。 生徒は概ね良い態度で朝読書に取り組んでいる。	B	授業内容の精選や目標設定の適正化をさらに進める。		
	○個に応じた学習指導	○生徒の学力が多様で一斉指導だけでは不十分である。	○生徒一人ひとりの学習活動に対する満足度を高める	○個々の生徒の実態把握に努め、それに応じた学習内容や指導法を検討する。				B	今後も、個々の生徒への学習支援を手厚くする。同時に、意欲ある生徒がより高度な目標に取り組むよう指導する。
	○読書の推進	○読書の習慣のない生徒も見られる。	○本に親しむ生徒を育成する	○全校一斉の朝読書の時間を設ける。				B	読書の苦手な生徒に対して読書支援を行う。館外貸出も継続する。
2.【豊かな人間性の育成】ルール・マナーを身につけさせる。	○環境教育の充実	○環境問題についての生徒の理解が不十分である。	○環境活動の活発化	○環境 LHR を設けて環境問題を学習する。	生徒の環境に対する意識は以前より高まったが、ゴミの分別状況には課題がある。 多くの生徒が制服を正しく着用し指導の効果は上がっている。ズボン、ブラウスの着用等に問題のある生徒が一部見られる。	C	TEAS 委員会、環境 LHR 等を開催し、ゴミ分別について更に周知徹底を図る。		
	○制服の正しい着用	○頭髪・服装などのルールやマナーを守れない生徒もいる。	○制服を正しく着用する生徒の増加	○「改善指導カード」の趣旨を全職員で再確認し指導の徹底を図る。 ○指導の項目や基準を具体的に生徒に示す。				B	今後も全職員で指導を継続していく。指導基準、項目のさらなる明確化を図る。

評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策
3.【進路指導の充実】コミュニケーション能力の育成。	○進路意識の高揚	○進路情報の提供、職場体験学習、個別指導などとおして進路意識の高揚に努めているが、3年生になっても進路目標が定まらない生徒も多い。	○生徒が早期に希望進路を決定する	○進路情報の提供や個別指導を充実させる。模試受験や講習参加の呼びかけを強化する。	進学か就職かの方向決定は早まってきた。従来より就職状況についての関心が高まり、正規採用を希望する生徒が増えている。	B	進学、就職に必要な講習への参加呼びかけを強める。 2年時に求人票を見る機会を設けるなどして進路意識を高める。
	○生徒の自己表現力、コミュニケーション能力の育成	○進学、就職の志望理由書、面接などにおいて自己表現が十分にできない生徒も見られる。	○面接、作文等で自己表現できる生徒を育成する	○授業や課題研究などで生徒の自己表現や発表の場を増やしていく。 ○集団面接の導入、個別指導、挨拶運動など指導方法を工夫する。	「産業社会と人間」での発表、総合学習、面接指導、挨拶指導、集団フリートークなど様々な取り組みにより、生徒の自己表現力は向上している。		B
4.【光り輝く学校づくり】地域との連携を図る。	○本校の教育活動を地域へアピールする	○ホームページが、デザイン変更により見やすくなった。また、内容の更新を頻繁に行った。 ○地域との交流事業を積極的に行い地域の評価も高い。	○本校の教育活動の内容を地域で理解してもらい、本校の信頼性をさらに高める	○ホームページの充実に努めるなど情報発信の方法を工夫して、日野高校をアピールする。 ○校外実習、ボランティア活動、社会人講師の活用など地域との連携をさらに強化する。	ホームページを頻繁に更新し、学校行事、部活動の様子をスピーディに地域や保護者に発信している。 社会人講師の活用、校外施設実習、日野町図書館との連携、交流学習、日野高ショップ、部活動などを通じて地域との交流を推進している。	A	引き続き、ホームページ等を通じて学校の情報発信を推進する。 地域との交流活動の新たなかたちを模索し、魅力ある日野高校を地域にアピールできるよう努力する。

評価基準 A: 十分達成 B: 概ね達成 C: 変化の兆し D: まだ不十分 E: 方策の見直し